

コーディングマニュアル(リモートアクセスされる電子ブックに関する抜粋集)

(平成22年2月26日版、平成22年4月より適用)

2.0.7 リモートアクセスされる電子ブックの書誌記述

当面、リモートアクセスされる電子ブック(以下、電子ブック)の書誌記述に関しては、本規定を暫定的に適用する。

2.0.7A 【適用範囲】

この入力基準を適用するのは、以下の条件をすべて満たす電子ブックとする。

- (1) 逐次刊行物の定義に合致せず、一般的に書籍として扱われるもの。
- (2) 図書館でアクセスを保証できるもの。具体的には、出版者から購入している電子ブックや図書館等で作成・提供している電子的研究報告書類など。ILLで利用可能かどうかは問わない。
- (3) ネットワーク上で提供されており、URLなどリモートアクセスのための識別子をもつもの。以下のものには、この入力基準を適用しない。
 - (1) 一般的に書籍として扱わないインターネット上のコンテンツ。
 - (2) 図書館としてアクセスを保証できない、ライセンスフリーの電子ブック。
 - (3) CD-ROM形態等のローカルアクセスで利用する電子ブック(これらについては、従来の図書書誌レコードの記述方法で対応する)
 - (4) 全文データベースや2次情報データベース。

2.0.7B 【書誌レコードの作成基準】

B1 (原則)

ネットワーク上の電子資料とは別に、冊子体やCD-ROM等の異なる資料種別で刊行されている場合は、それぞれ別の書誌レコードを作成する。親書誌レコードについても別の書誌レコードを作成する。

B2 (タイトル変化)

刊行途中で変化があった場合は、変化前と変化後で別書誌レコードは作成せず、最新のタイトル等を記録する。変化前のタイトル等はVTフィールドにコードOHを付して記録する。また、タイトルの変化の情報とともに、NOTEフィールドにも記録する。

B3 (複数のアクセス先)

同一の電子ブックが複数のアクセス先を持つ場合は、別の書誌レコードとはしない。IDENTフィールドに複数のアクセス先を記述する。(2.0.7D5.2)

B4 (ファイルフォーマット等の違い)

同一の電子ブックが、HTMLやPDF等、複数のファイルフォーマット(文字セット、言語の違いも含む)で提供されている場合は、別の書誌レコードとはしない。

NOTEフィールドに複数のファイルフォーマットを記述する。(2.0.7D6.5)

2.0.7C 【記述の情報源】

記述のための情報源は、以下の優先順位で採用する。

- 1) タイトル画面
- 2) その他の内部情報（メニュー、プログラム記述、リードミー・ファイル、索引など）
- 3) その他の情報源

情報源自体が最新のものに更新されることから、確認できる最新のものを情報源として採用する。

2.0.7D 【データの記入】

各フィールド毎、次のように記録する。

以下に規定しないフィールドについては、第2章、第3章の各フィールドの規定に従ってデータ記入を行う。

D1（一般資料種別GMD、特定資料種別SMD）

機械可読データファイルに関する資料種別コードを記録する。

GMD:w SMD:r

（機械可読データファイルを示すコード「w」、リモートファイルを示すコード「r」を記録）

D2（ISBN等のコード類）

ISBN等のコード類は、記述対象の電子ブックに関するものを記録する。

D2.1（VOLフィールド）

VOLフィールドには、説明語句として、電子ブックを示す説明語句を記録してもよい。

VOL:: electronic bk ISBN:9784431094166 XISBN:4431707913

（電子版のISBNと冊子版のISBN両方がある場合）

VOL: ISBN: XISBN:4431707913

（電子版のISBNがなく、冊子版のISBNのみがある場合）

VOL: ISBN: XISBN:9784431094164

（電子版のISBNがISBNフィールドに入力できない場合）

D3（出版・頒布等に関する事項）

複製物に相当する場合には、その原資料ではなく、電子ブックに関する出版・頒布等に関する事項を記録する。原資料の出版・頒布等に関する事項は注記する。

PUB:Boulder, Colo. : NetLibrary , 2006

NOTE:原資料の出版事項: 東京 : 紀伊國屋書店 , 1994

D4（形態に関する事項 PHYS）

リモートアクセスされる電子ブックの場合、形態に関する事項は、洋資料は「1 online resource」、和資料は「1オンラインリソース」と記録する。また、その後に印刷体を想定した形態事項などを付記できる。形態事項を記録することが困難な場合は、記録しなくても良い。

1 online resource (3 v.)

1 online resource (100 p.)

1オンラインリソース (iv,256p)

D5 (アクセス先に関する事項 IDENT) (Identifier: 資源識別子)

D5.1 (アクセス先の記録)

リモートアクセスされる電子ブックの場合、アクセス先のURLなどに関する事項を記録する。

IDENT: <http://springerlink.com/content/j3t4g388634h/>

IDENT: <http://www.netLibrary.com/urlapi.asp?action=summary&v=1&bookid=225215>

IDENT: DOI: 10.1039/9781847558152

D5.2 (複数のアクセス先)

サービス提供者によりURLが異なる場合等、複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

IDENT: <http://springerlink.com/content/j3t4g388634h/>

IDENT: <http://metapress.com/content/j3t4g388634h/>

D5.3 (アクセス先の変更)

なお、このアクセス先は、常に最新の利用可能なものを記録するものとする。利用不可能となった古いアクセス先は削除し、NOTEフィールドに記録する。

D6 (注記 NOTE)

D6.1 (アクセス先の注記)

IDENTフィールドが利用できない場合の措置として、導入語句を伴う定型注記として記録することができる。

複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

NOTE: URL: <http://springerlink.com/content/j3t4g388634h/>

D6.2 (古いアクセス先の注記)

URL等が変更となった場合、利用不可能な古いURLを記録する。

TR:目録情報の基準. -- ED:第4版

IDENT:http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN/KIJUN/kijun4.html

NOTE:URL:http://www.nacsis.ac.jp/CAT-ILL/MAN/KIJUN/kijun4.html (2000年3月まで。現在は
利用不可能)

D6.3 (アクセス方法の注記)

アクセス方法に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス:WWWによる

NOTE:Access:via World Wide Web

NOTE:Access:via File Transfer Protocol services

D6.4 (アクセス条件の注記)

所蔵図書館の購入契約条件などによらず、その雑誌に共通するアクセス条件に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス:利用はコンソーシアム参加館のみ

NOTE:アクセス:ライセンスフリー

NOTE:アクセス:ILL利用は不可

NOTE:Access:only consortium libraries

D6.5 (ファイルフォーマット等の注記)

HTMLやPDF等、複数のファイルフォーマット(文字セット、言語の違いも含む)で提供されていることについて、その旨注記する。

NOTE:PDF,HTML形式により、利用可能

NOTE:HTML, PostScript and ASCII formats

NOTE:Available in GB, BIG5, and HZ formats for online viewing

NOTE:In English and Spanish

D6.6 (廃止等の注記)

廃止等により、アクセスができなくなった場合、その旨注記する。

NOTE: アクセス:2009年2月から廃止により不可

NOTE: Access: Ceased publication in 1999

D6.7 (情報源の注記)

必要に応じて、タイトルの情報源について注記する。

NOTE: タイトルはメニュー画面による

16.0.1 リモートアクセスされる電子ブックの所蔵記述

当面、リモートアクセスされる電子ブック（以下、電子ブック）の所蔵記述に関しては、本規定を暫定的に適用する。

16.0.1A〔適用範囲〕

2.0.7Aに規定する適用範囲に準ずる。

16.0.1B〔データの記入〕

B1(配置コード LOC)

出版者から購入している電子ブックを機関全体で利用できる場合、いずれかの参加組織の任意の配置コードを記録する。

その機関内で作成・提供している研究報告等の電子ブックの場合は、作成・提供機関に相当する参加組織の任意の配置コードを記録する。

B2(所蔵巻次データ VOL)

その参加組織でアクセス可能な巻次データを記入する。

または、その機関で作成・提供している巻次データを記入する。

廃止などによりアクセスが不可能となった場合は、所蔵レコードを削除する。

B3(コピーノート CPYNT)

B3.1(ILLでの利用)

当該電子ブックについて、ILLサービスにおいて利用できる場合、フィールド冒頭に「ILL可」と記述する。

CPYNT: ILL可

B3.2

その他、参加組織独自の利用条件等に関する事項は、ここに記録する。

複数URLが存在し、利用者に明示する必要がある場合は、ここにURLを記録する。

以上